



休暇村讃岐五色台からの坂出方面の展望

高

松市と坂出市にまたがる連峰・五色台は、瀬戸内海に突き出した溶岩台地。車道沿いにいくつかのビュースポットが点在しており、キャンプや自然体験だけでなく気軽にドライブも楽しめるスポットです。

海沿いを走る県道16号から分岐し、県道281号を通過して山を上っていくと、やがて目に入ってくるのは「瀬戸内海歴史民俗資料館」の特徴的な石造りの建物。展示物は瀬戸内地方の歴史や民俗にまつわるものを中心に、古い漁具や船、祭具などを間近に見ると、海とともに歩んできた郷土の歴史がなんだか身近に感じられます。

お薦めは、同館屋上の展望台。

北の対岸に岡山県玉野市、その間の直島や豊島、東の男木島・女木島から屋島を一气に眺められるスポットで、条件がよければ潮流が描き出す濃淡2色の布模様を見ることができるとか。その2色の境目に漁をする船が群がる光

景も、瀬戸の風物詩です。

一方、道を挟んで資料館のすぐ向かいには県自然科学館。奥の芝生広場につながる遊歩道の先には、西側に開けた展望台が二つ並んでいます。第1展望台からは彫刻家・流政之氏作品「またきまい」と海景色のダイナミックなコラボレーションが、第2展望台からは真一文字に視界を横切る瀬戸大橋の眺めが楽しめます。

木々の間を曲がりくねる道を通って、もう少し奥へ行ってみましょう。途中の分岐点で「休暇村讃岐五色台」の表示に沿って進み、五色台ビジターセン



エリア 高松市・坂出市

山から海へ視線をいざなう パノラマビューの万華鏡

瀬戸内海を望む景勝地・五色台。3000〜4000級の峰が連なり、角度が変わるたびに違う顔を見せてくれる、圧巻の瀬戸内絵巻が広がります。



瀬戸内海歴史民俗資料館展望台から紅峰を望む



彫刻家・流政之氏の作品「またきまい」

地域の自然に触れるきっかけに

五色台ビジターセンター
スタッフ 繁里 昇さん

ビジターセンターの体験プログラムが目指すのは、子どもたちが香川の環境に興味を持つきっかけづくり。五感で自然に親しむクラフト教室や自然観察会などが人気です。「五色台は『海に面した山』で、海景色も身近ですから、海を意識したプログラムも大切にしています。水の美しさは山の豊かさがあればこそ。海のある県として、地元の環境にしっかり触れてもらいたいですね」とスタッフの繁里さん。眼下に広がる海岸の砂や貝がらを使ったクラフト教室、五色台で営業して海やため池まで餌をとりに行く猛きん類「ミサゴ」の観察など、山と海を結び視線が随所に息づいています。



繁里さん

■ 五色台フェスティバル

日時：9月14日(日) 10時～15時
場所：休暇村讃岐五色台、五色台ビジターセンター
森のクラフト体験教室、自然観察ハイキング、竹の珍種目競技会
瀬戸内海国立公園パネル展、むかし遊びコーナーなど

■ 段ボールオープンでピザ作り

日時：9月28日(日) 9時30分～13時30分
場所：五色台ビジターセンター 参加費：3000円(5人分)

五色台ビジターセンター ☎0877-47-2479

問 五色台ビジターセンター 検索

ターを過ぎてしばらく行くと、行き止まりに休暇村の宿泊施設が現れます。駐車場のすぐそばがウッドデッキの展望台。坂出市街地や飯野山、象頭山、そして番の州からのびる瀬戸大橋が島々を結んで岡山の方にかすんでゆく様子が、一大パノラマのように広がります。快晴時はもちろん、夕暮れ時に太陽の光を受けてきらきら輝く海景色は、まさに息をのむほど！ 五色台を知る人が必ずと言っていいほど挙げるのも、このスポットです。くるくる変わる180度の眺めを堪能して、あなただけの瀬戸内絵巻を、心に描いてみませんか。